

第4回 札幌開発建設部遊水地事業監理委員会 議事要旨

【開催日時】 平成23年8月1日(木) 15:00~16:30

【開催場所】 北広島河川防災ステーション 会議室

【委員】 内田 和男(北海道武蔵女子短期大学 学長)

◎加賀屋 誠一(北海道大学大学院工学研究院 教授)

黒木 幹男((財)河川環境管理財団 北海道事務所 研究顧問)

鎌田 貢次(寒地土木研究所 寒地農業基盤研究グループ長)

※◎は、委員長(50音順) ※許士委員は欠席

【議題】

1. 審議事項

- (1) 工程管理について
- (2) 事業費管理について

2. 総評

【議事要旨(委員会意見)】

《工程管理について》

- ・ 補償物件の多い遊水地について、計画工程どおりに進まない場合の工程管理も考えて事業を進めて行くことが必要である。

《事業費管理について》

- ・ 泥炭の有効活用に向けて様々な取り組みを行っているが、残土処理する場合のコストと、有効利用した場合に必要なコストを整理しておくことが必要である。
- ・ 事業区域の決定によって計画段階で想定していた補償施設が変更したのであれば、その内容とコストについても整理して事業費管理することが必要である。

《関連する留意すべき事項》

- ・ 遊水地整備を含む千歳川の治水対策を決定した経緯を踏まえ、事業を進める際には、地域住民に対し、軟弱地盤上の難しい築堤盛土に関して様々な検証を行いながら整備を進めていることや、千歳川の遊水地整備による内水被害の軽減の寄与の具体的な効果などについて、判りやすく示し、理解してもらうことが重要である。
- ・ 遊水地整備後の利活用を検討する際には、整備後の姿を考えた維持管理コストの低減方策や管理面の主体などについて、具体的な内容を地元と調整して進めた方が良い。
- ・ 遊水地整備の進捗状況とあわせて、千歳川の堤防整備・河道掘削の進捗状況や遊水地完成段階の整備状況などについても委員会で教えていただきたい。
- ・ 遊水地整備などの公助だけでなく、自助・共助もバランス良く機能する事も必要である。

以上